

壊死化した褥瘡も入院せず軽快！

～医療機関との連携で実現した
SNaP陰圧閉鎖療法を導入した褥瘡治療～



介護老人保健施設
オキドキ

看護師 川口 俊子

共同研究者 高田 哲也
川窪 昌彦
内城 好美

「SNaP陰圧閉鎖療法システム」



局所陰圧閉鎖療法の仕組み

フィルムでキズを保護

連結チューブ



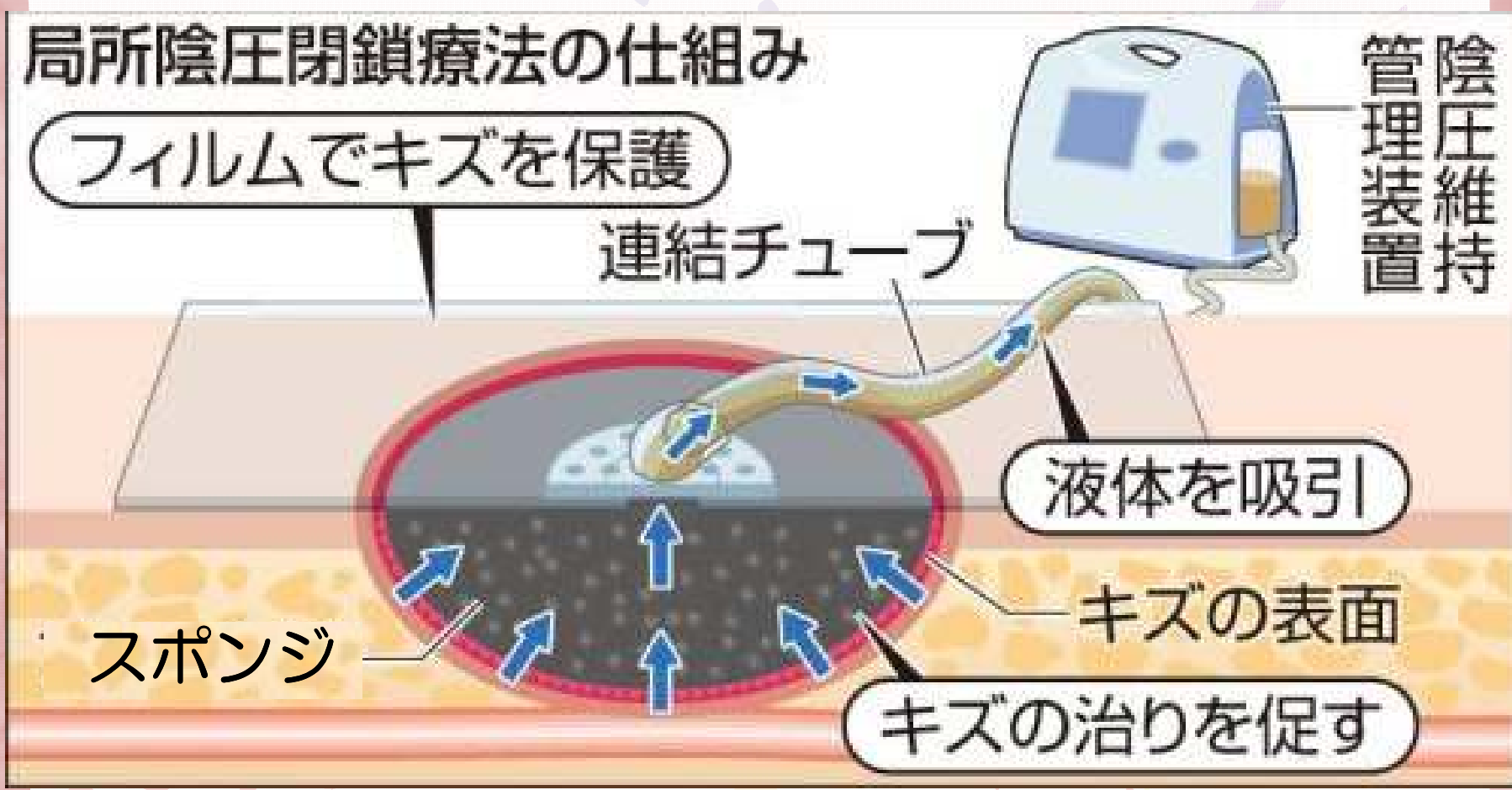
陰圧維持
管理装置

液体を吸引

スポンジ

キズの表面

キズの治りを促す



局所陰圧閉鎖療法 (SNaP) の作用機序

1. 創収縮の促進
2. 過剰な滲出液の除去と浮腫の軽減
3. 細胞・組織に対する物理的刺激
4. 創床血流の増加
5. 老廃物の軽減



対象利用者概要

Y氏。77歳男性。要介護度2。

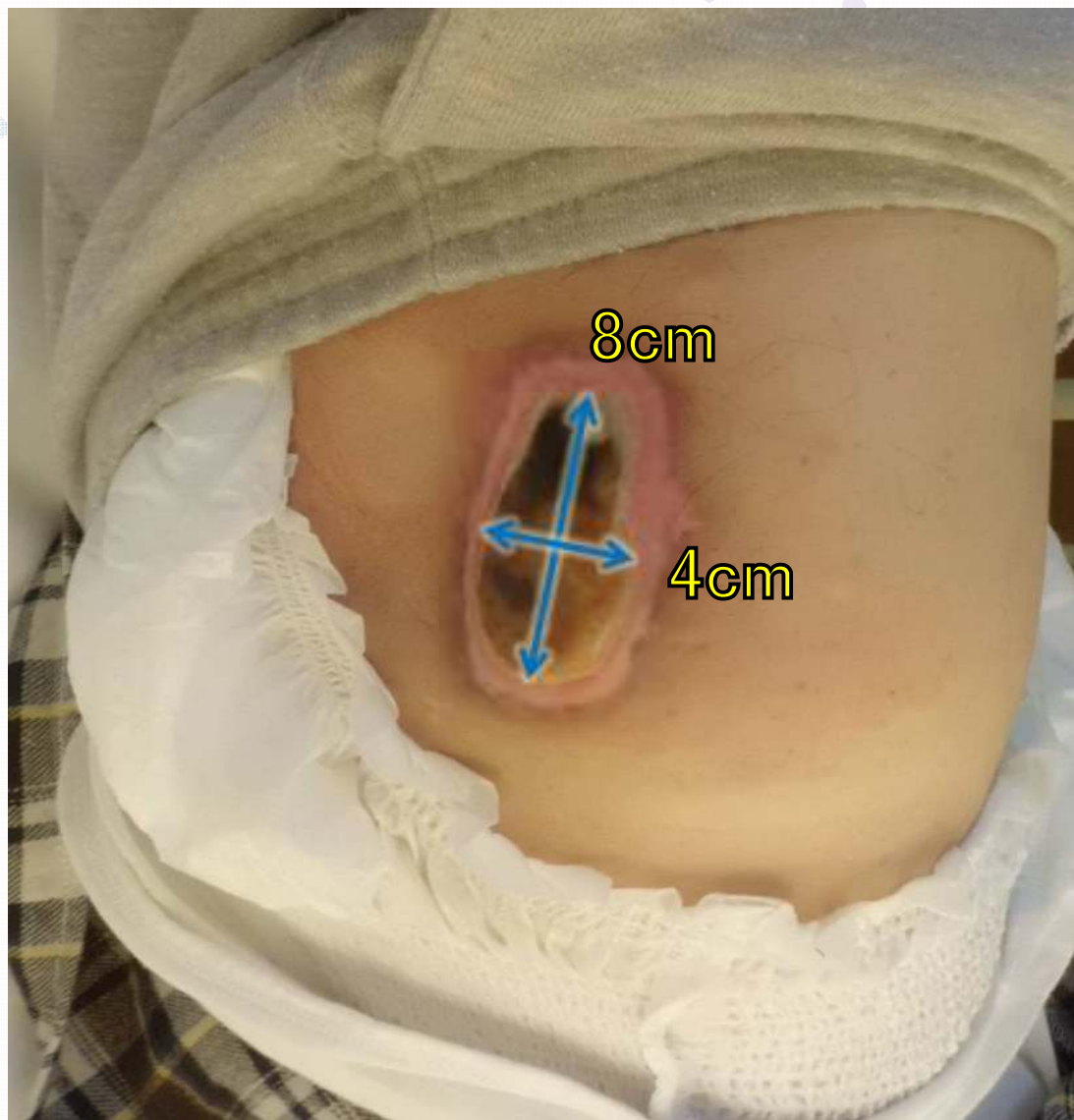
ホームヘルパーを利用しながら独居生活。

平成25年9月21日23時頃転倒（詳細不明）。

翌22日午前中、パソコンラックにもたれかかり動けなくなっているところを、ヘルパーが訪問時に発見。

緊急入院時には、すでに左上肢の完全麻痺、左大転子部に10×5cmの褥創があった。

撮影日(評価日) H25.11.11



8×4cm。黒色化。
ポケット発生を懸念。
週1回の
デブリードマンと
ゲーベンクリーム
処置施行。

DESIGN-R

d: 2 G: 5

e: 1 N: 6

s: 6 p: 0

i: 1

ブレーデンスケール

知覚の認知: 4

皮膚の湿潤: 3

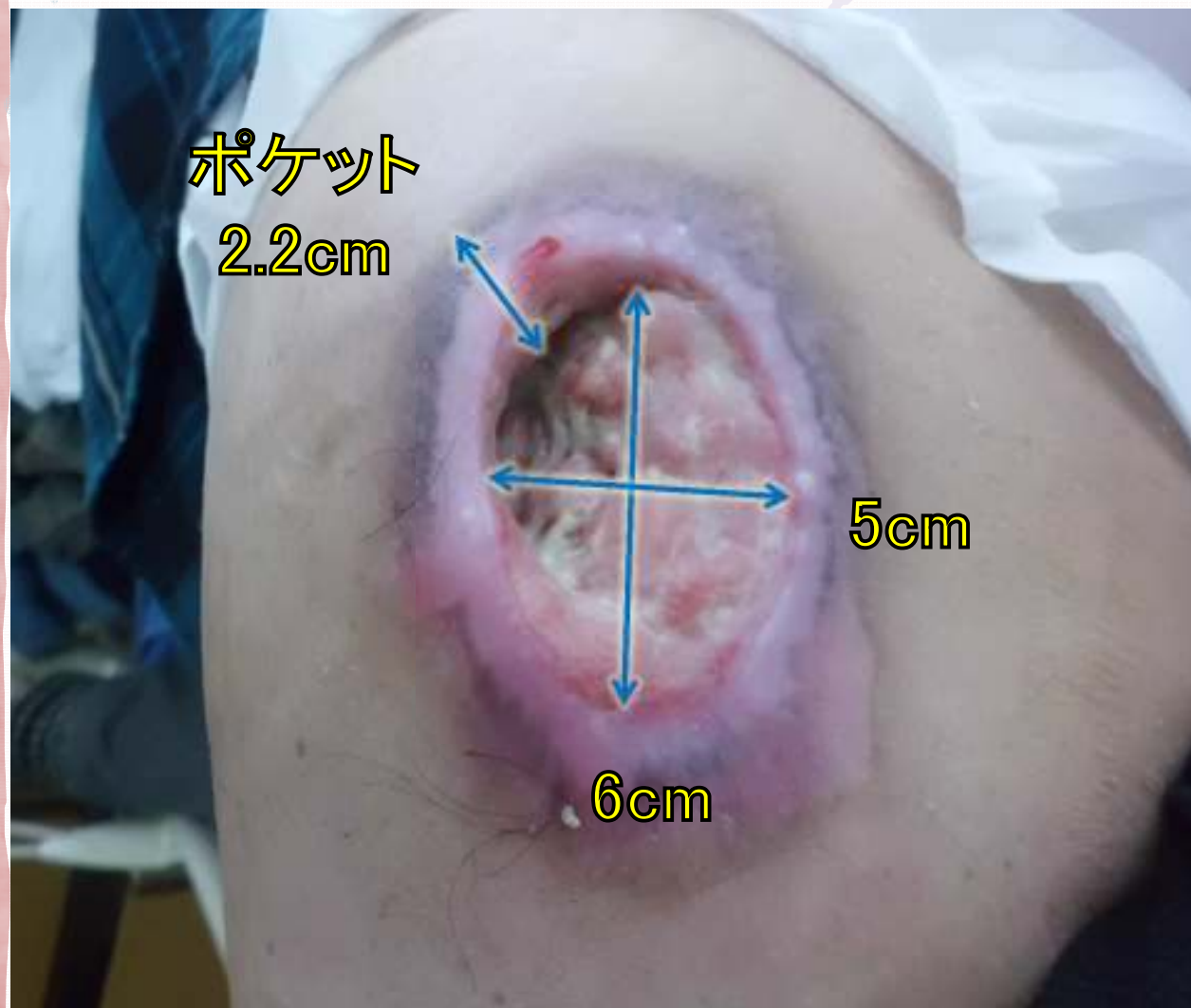
活動性: 2

可動性: 3

栄養状態: 3

摩擦とずれ: 2

撮影日(評価日) H25.12.18

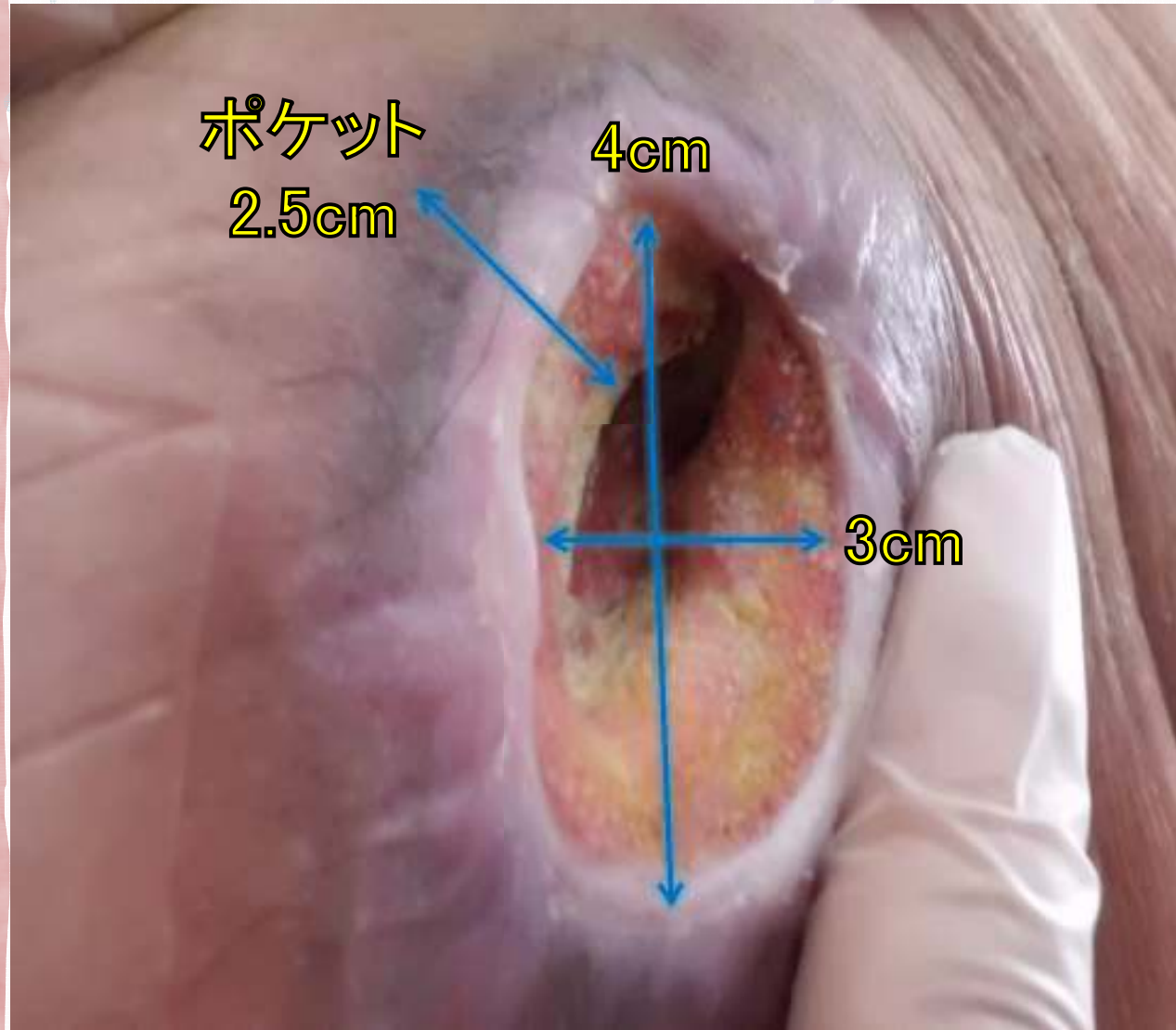


併設クリニック整形
外科医より公立
福生病院皮膚科を
紹介され受診。
シャワー洗浄後に
カデックス軟膏
塗布、ガーゼ保護
を1日に2回指示。
創部は
6×5cm。
ポケットを確認。

DESIGN-R

D: 3 g: 3
e: 3 N: 3
s: 6 P: 6
i: 3

撮影日(評価日) H26.1.21



創部は4×3cm。
肉芽再生不良。
ポケットあり。
公立福生病院にて
メーカー同席で
SNaP開始。

DESIGN-R

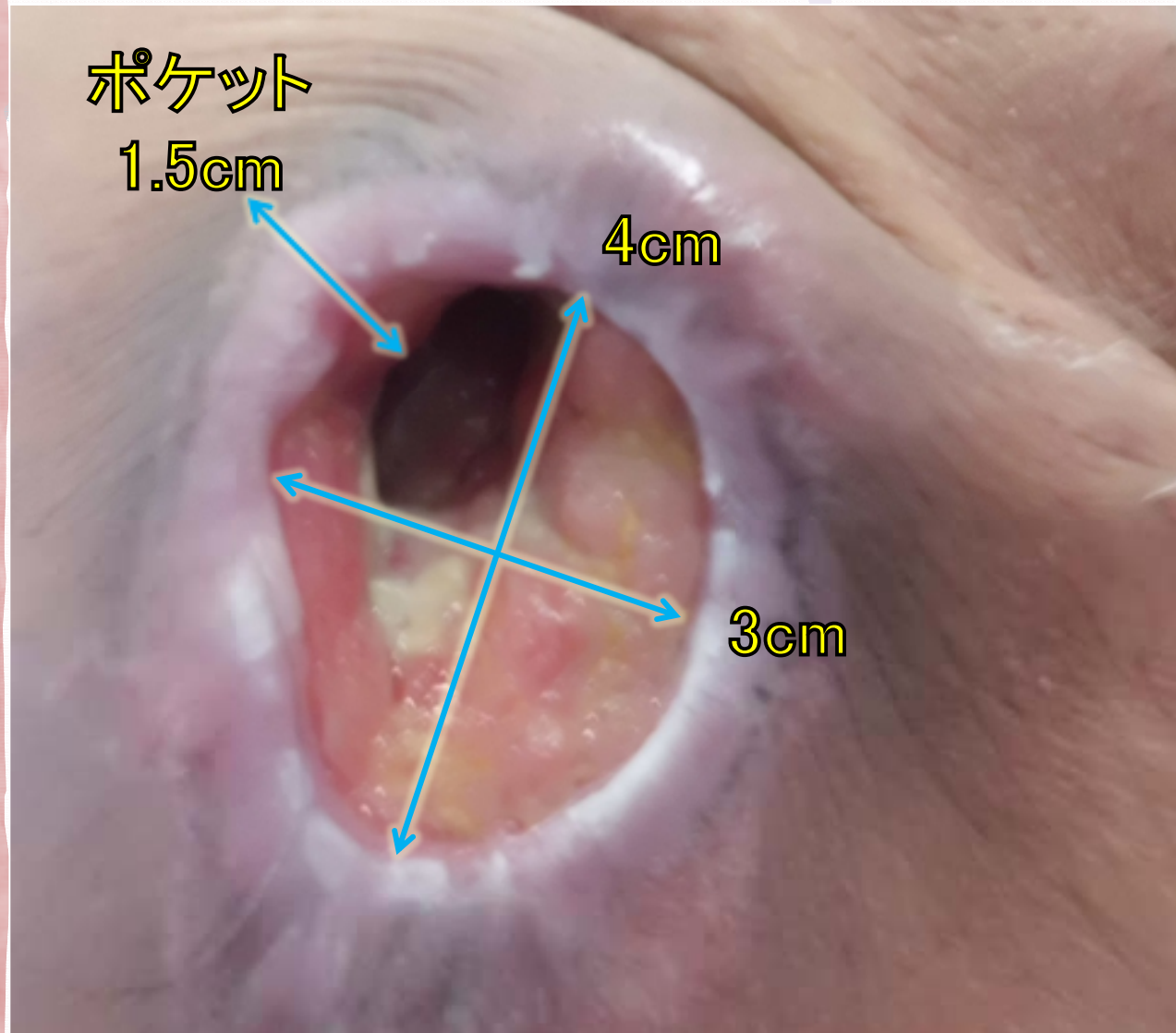
D: 3 g: 3

e: 1 N: 3

s: 3 P: 6

i: 0

撮影日(評価日) H26.1.28



創部の浸出液増加により器械不具合発生。浸出液を培養検査提出。デブリードマン施行。創部は4×3cm。全体の肉芽盛り上がりを確認。

DESIGN-R

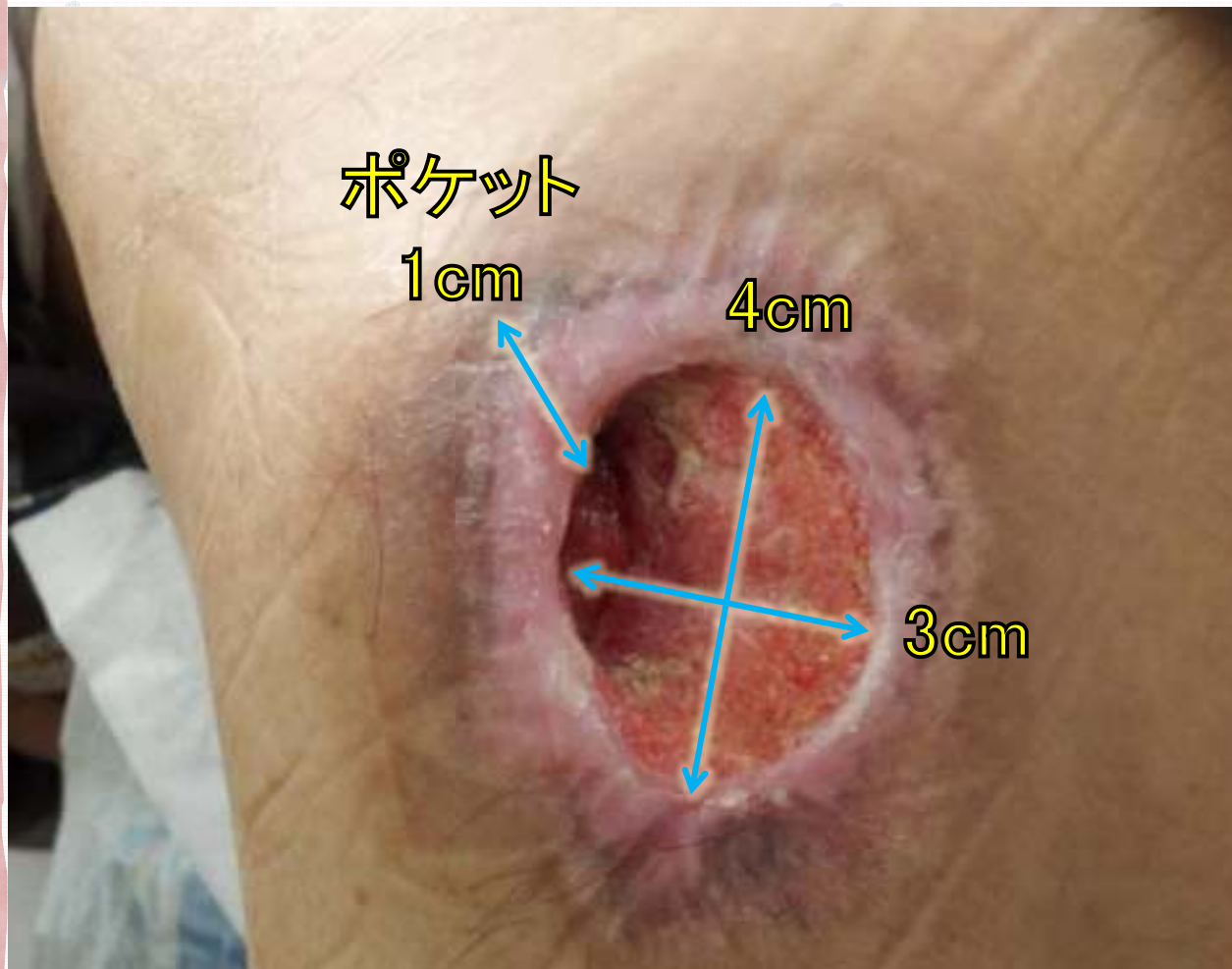
D: 3 g: 3

e: 1 N: 3

s: 3 P: 6

i: 0

撮影日(評価日) H26.1.31

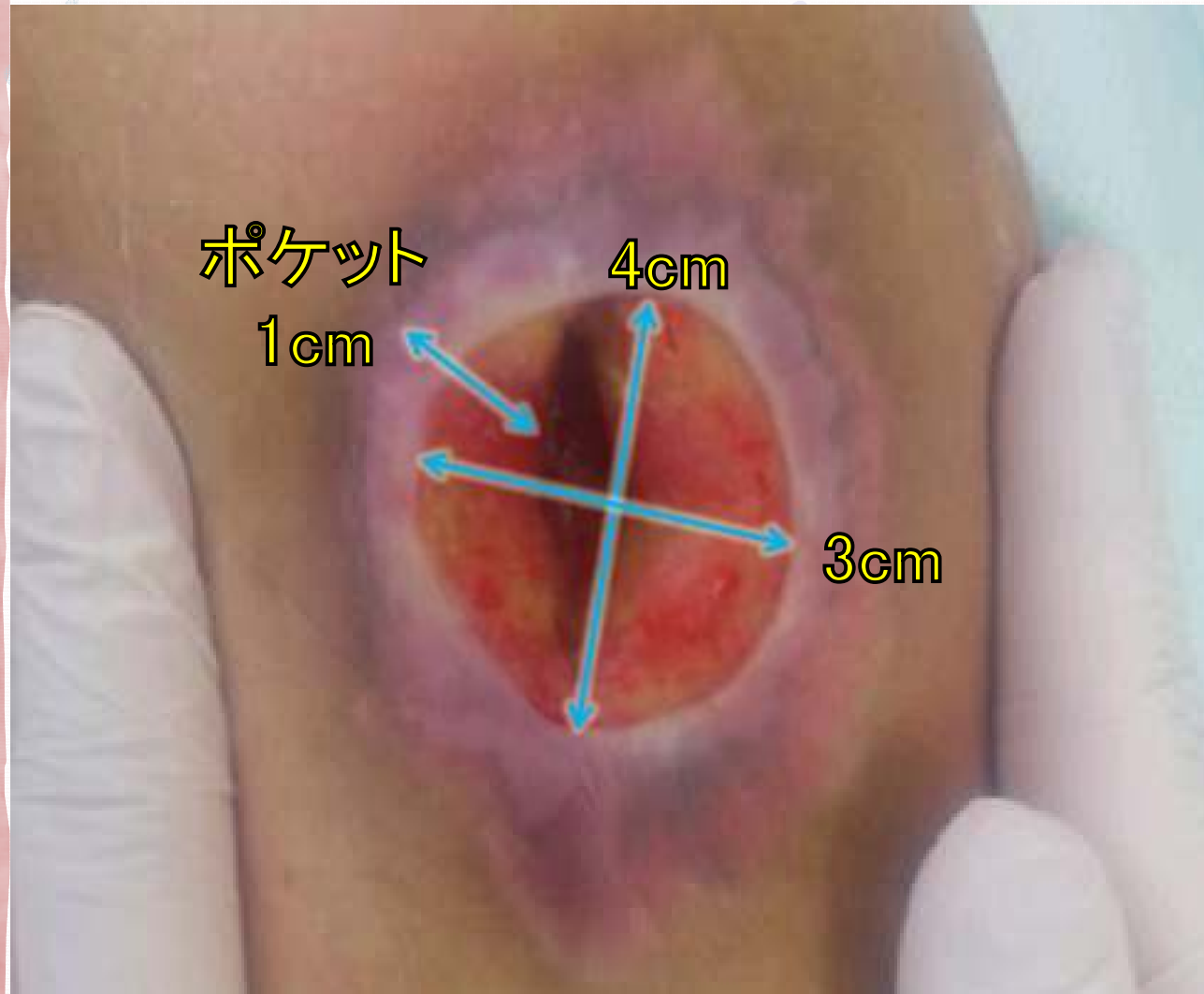


創部からブドウ球菌検出。
一時SNaP中止。
シャワー洗浄後
ゲーベンクリーム
塗布、ガーゼ保護
を1日に2回処置へ
変更。

DESIGN-R

D: 3 g: 3
e: 3 N: 3
s: 3 P: 6
i: 0

撮影日(評価日) H26.2.13



浸出液を
培養検査提出。
デブリードマン
施行後、同処置
続行。

DESIGN-R

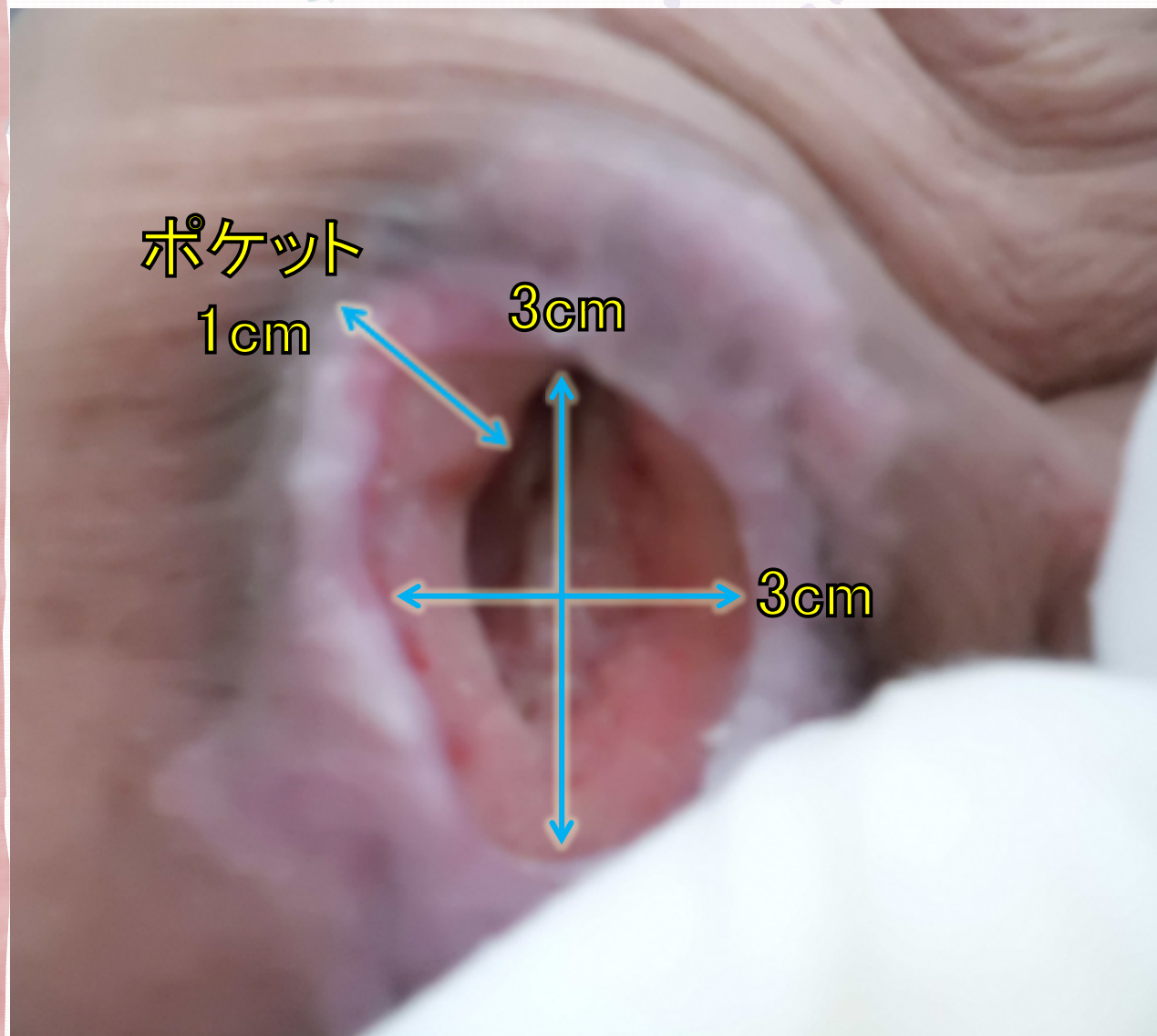
D: 4 g: 3

E: 6 N: 3

s: 3 P: 6

i: 3

撮影日(評価日) H26.3.4

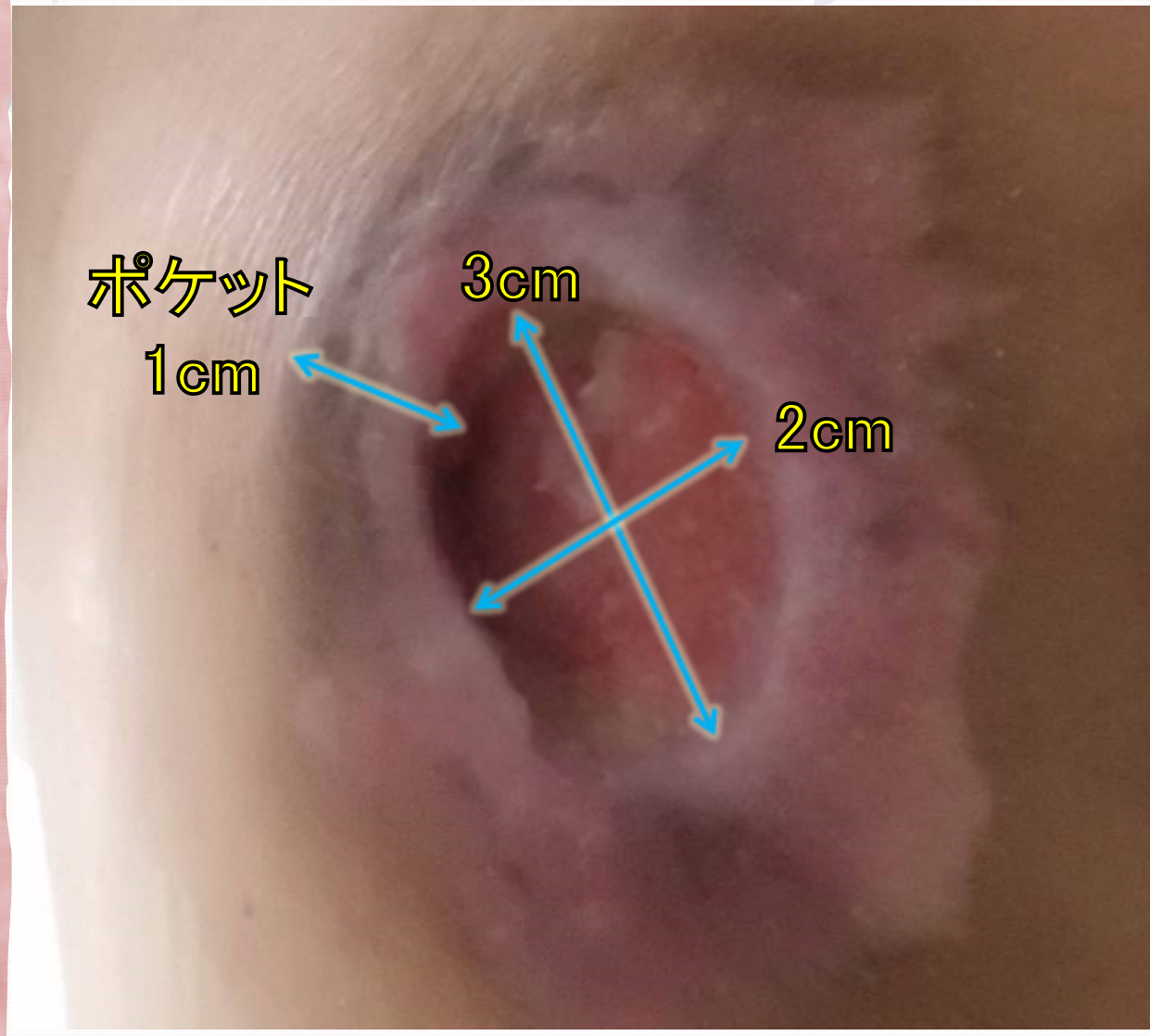


ブドウ球菌陰性。
SNaP再開。

DESIGN-R

| | |
|------|------|
| d: 3 | g: 1 |
| E: 1 | n: 0 |
| s: 6 | P: 6 |
| i: 0 | |

撮影日(評価日) H26.3.21



SNaP終了。
創部は2×3cm。
肉芽再生良好。
洗浄後
プロスタンディン
軟膏1日1回処置
へ変更。

DESIGN-R

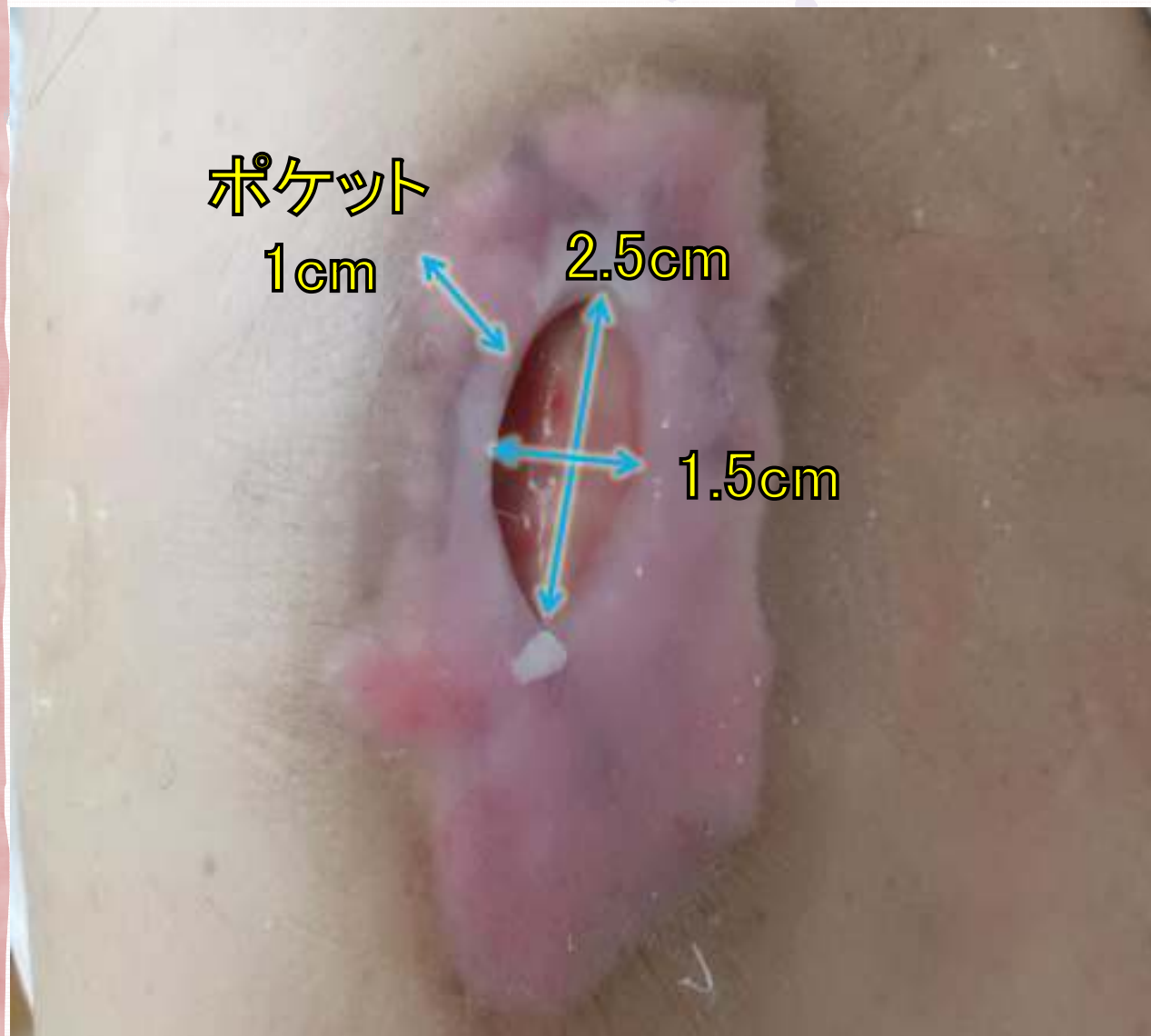
D: 4 g: 1

E: 3 n: 0

s: 3 P: 6

i: 0

撮影日(評価日) H26.4.22



洗浄後
プロスタンディン
軟膏1日1回処置
続行。

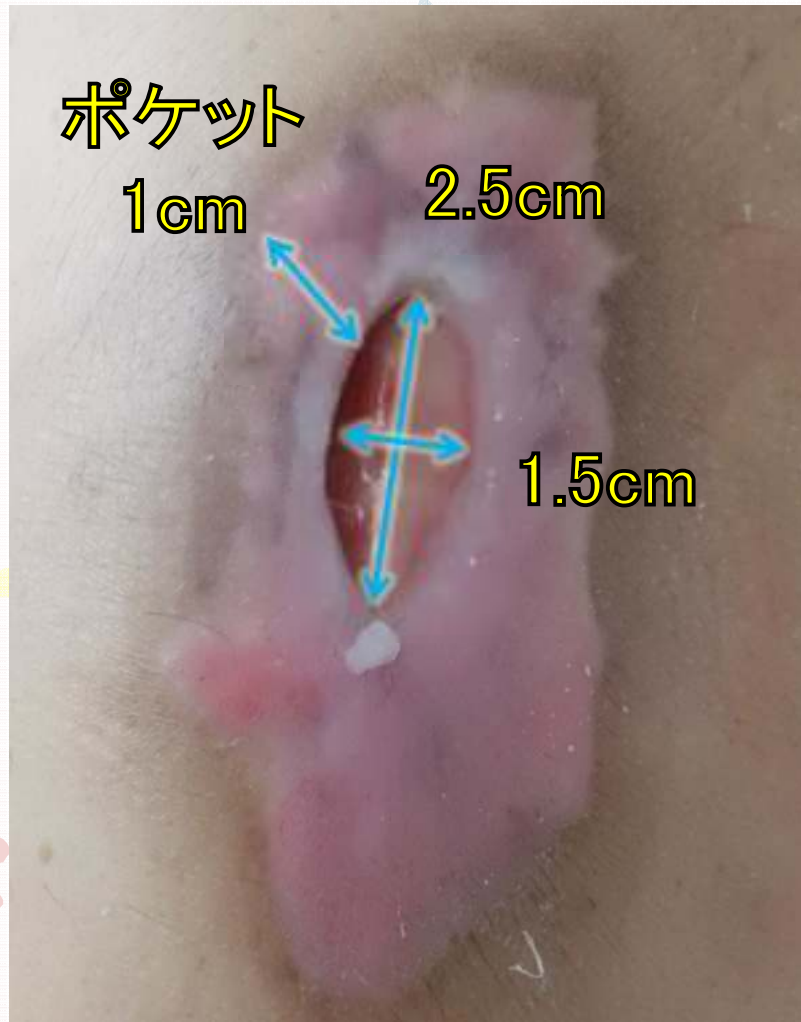
DESIGN-R
d:2 g:1
E:3 n:0
s:3 P:6
i:0

<評価>

H26.4.22



H26.4.22



H26.10.9

